

効率的な財政運営により、健全財政を維持！

～一般会計約 2 億 2 千万円の黒字～

小野中学校改築、新病院建設等大型事業に着手！

財政健全化指標はさらに改善、健全性を維持！

市債残高は 140 億円を下回り、基金残高は 74 億円を確保！

厳しい財政状況の中、徹底した経費節減により、健全な財政を維持しながら、「教育・文化の充実」「安全・安心社会の推進」「子育て支援など福祉の充実」「雇用対策・地域活性化の推進」などを重点項目としてさまざまな事業を展開した。

「教育・文化の充実」では、小野中学校の校舎改築(H22年度で完成予定)、小野中体育館新築にむけた実施設計、市場小学校の大規模改修(普通教室、体育館)や特別支援学校の体育館新築工事など教育環境の整備を行った。また書画カメラやプロジェクターなどの情報通信機器を配備し、ICT教育を推進した。

「安全・安心社会の推進」では、地域の安全を守るため、専用パトロールカー 1 台(2台増車)、15人(4名増員)の専門員により地域防犯、不法投棄、交通安全対策等を行う安全安心パトロールを実施した。また市場・大部小学校の耐震改修を行い、地域の避難施設でもある学校施設の安全を図った。これで改築中の小野中、今後改修予定の小野東小を除く市内すべての小中学校の耐震改修が完了した。この他に新たに建設する北播磨総合医療センター(平成 25 年 10 月開設予定)にかかる準備、消防庁舎の耐震改修、高規格救急車の更新などを行った。

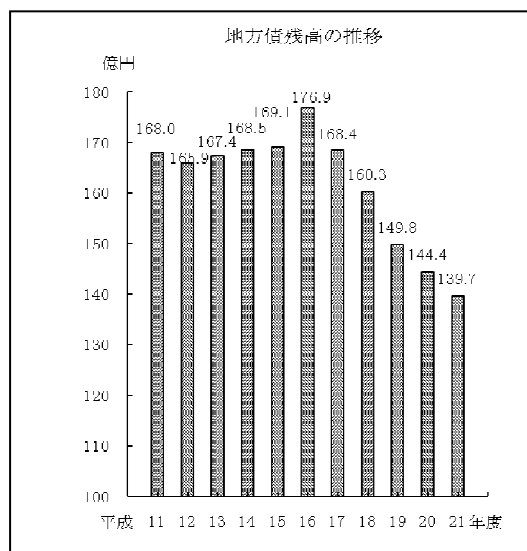
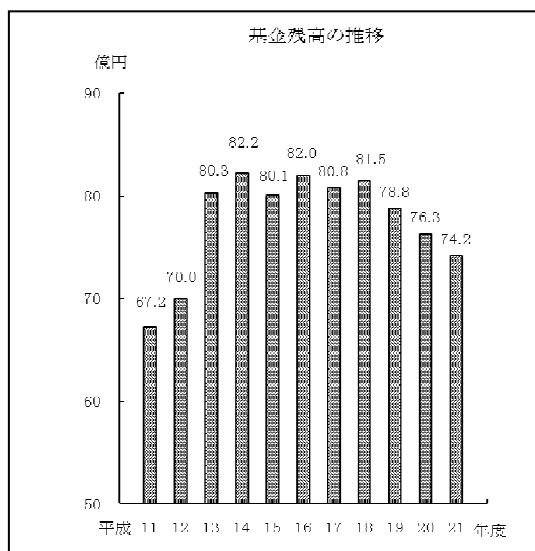
「子育て支援など福祉の充実」では、県下初となる中学校 3 年生までの医療費完全無料化(平成 20 年度は小学 6 年生まで)を実施し、子育てにかかる経済的負担を軽減した。また、妊婦健診費用助成では全妊娠期間のうち 5 回 35,000 円を限度に助成していたが、14 回分の標準額へ拡大した。この他に子育て広場の整備補助(12ヶ所)、3人乗り自転車のレンタル事業など積極的に事業を展開した。

「雇用対策・地域活性化の推進」では、緊急雇用対策として失業者等の雇用機会の創出を行い、地域のニーズに応じた緊急雇用創出事業を実施した。また国道 175 号市場東交差点から工業団地につながる新都市中央線の整備や粟生駅の駅舎・コミュニティ施設、周辺広場の整備を行い、駅利用者の利便性の向上と地域の活性化を図った。

「国の経済危機対策に伴う地域活性化事業」では、緊急経済対策相談窓口の設置、JR各駅に防犯カメラの設置、観光客誘致のための観光パンフレットの作成、高齢者世帯に火災警報器の設置、消防緊急通信システムの更新、総合体育館の改修などを行った。

財政面においては、積極的な事業展開を行いながらも一般会計では約2億2千万円の黒字となった。市債残高は4億7千万円(残高が最も多かった平成16年度と比べると約37億円、21%減少)減少し139億7千万円(市民1人あたり28万円)、基金残高は一部取り崩しをしたものの、74億2千万円(市民1人あたり14万9千円)を確保するなど、徹底した経費節減と効率的な財政運営により健全財政を維持した。

なお、特別会計・企業会計を合わせた決算総額は、歳入345億8千万円、歳出351億1千万円となった。



【健全化比率（4指標）及び資金不足比率】

名称及び説明	小野市の比率	早期健全化基準 (%)	コメント
毎年度の収支の健全度の目安			
実質赤字比率	税収や交付税など自治体の収入に対する一般会計の赤字額の割合 - (Δ2.03)	13.19	良好
連結実質赤字比率	税収や交付税など自治体の収入に対する企業会計などを含む全会計の赤字額(資金不足額)の割合 - (Δ58.96)	18.19	極めて良好
借金負担の健全度の目安			
実質公債費比率	税収や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合 13.7	25	良好
将来負担比率	税収や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来支払うべき借入金等負担の割合 1.4	350	極めて良好
公営企業の健全度の目安			
資金不足比率	病院、上水、下水など公営企業の資金不足額(流動負債と流動資産の差)の営業収益に対する割合 -	20	極めて良好

公営企業資金不足の数値
 病院(Δ65.7)
 水道(Δ317.1)
 下水道(Δ2.3)
 都市開発(Δ18.4)

平成 21 年度 決算の主な事業内容について

◎ 重点項目

「教育・文化の充実」

「安全安心社会の推進」

「子育て支援など福祉の充実」

「雇用対策・地域活性化の推進」

《教育・文化の充実》

(新)・小野中学校の校舎改築 2億4,990万円

小野中学校の全面建て替えに着手。平成 22 年度に完成予定。

(新)・市場小学校の大規模改修 4,221万円

普通教室棟（2棟）及び体育館の大規模改修工事を行った。

(新)・ICT教育(情報通信機器を用いた教育)の推進 5,147万円

書画カメラ、プロジェクター、校務用パソコンなどの情報通信機器を配備し、ICT教育を推進した。

(新)・特別支援学校体育館の新設 1億2,859万円

・全小学校にALT（外国語指導助手）を配置 2,524万円

・スクールアシスタントの配置（全小学校） 1,306万円

・川島隆太教授による脳科学の調査研究 54万円

・ハートフル・チャレンジ（漢字・計算・体力検定）の実施
1,006万円

・自然にふれあう体験型環境学習の実施（小学校） 215万円

・小中連携教育推進（国語・英語・理科等） 86万円

・兵庫教育大学との連携事業（学習指導補助等） 108万円

(新)・上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」の実施	(詩歌文学賞の創設含む)	1,586万円
・エイジ・ルネサンス事業の実施		425万円
・堀井城跡等の伐採及び発掘調査		200万円
・商店街の寺子屋事業（吉田表具店跡コミュニティ施設）		75万円

《安全安心社会の推進》

(拡)・安全安心パトロールの拡充		5,088万円
パトロール車を2台増車(パトロール員4名増員)し、合計8台15人体制で地域防犯パトロールを実施した。		
(新)・市場・大部小学校の耐震改修		2億4,843万円
校舎と体育館の耐震改修を実施。改築中の小野中、今後改修予定の小野東小を除く市内すべての小中学校の耐震改修が完了した。		
(新)・新病院建設にむけた準備経費		5,473万円
(新)・消防庁舎の耐震改修		1,778万円
(新)・コミュニティセンター等の耐震診断		460万円
(新)・市営住宅に火災警報器を設置		594万円
・いじめ等防止条例に基づき市民会議や相談、啓発活動を実施		759万円
・町境の通学路に防犯灯を設置(30灯)及び管理		133万円
・防犯灯新設(53灯)		176万円
・防災まちづくり事業(防火水槽2基・小型動力ポンプ3台)		1,002万円
(新)・高規格救急車の更新		2,509万円
・小型動力ポンプ積載車購入補助(消防団)		159万円
・女性相談事業		71万円
・ハートフル心の輪づくり事業(市民・女性リーダーの育成や地域交流活動など)		96万円
・消費生活相談・啓発等の実施		149万円
・全小学校、特別支援学校及び幼稚園に警備員を常時配置		1,947万円

《子育て支援など福祉の充実》

(拡)・中学3年生までの医療費の完全無料化 2億3,852万円

県下初となる中学3年生まで(平成20年度は小学6年生まで)の医療費完全無料化を実施し、子育てにかかる経済的負担を軽減した。

(拡)・妊婦健診費助成の拡充 3,009万円

平成20年度までは全妊娠期間のうち5回分35,000円を限度に助成していたが、14回分(標準的な費用の全額)まで拡大した。

(新)・第3子以降の保育料の一部を助成 373万円

第3子以降が保育所を利用する場合に3歳未満児は月額4,500円、3歳以上児は3,000円を上限に助成し、子育てにかかる経済的負担を軽減した。

(新)・3人乗り自転車レンタル事業 579万円

・らん♡らんバスの運行 3,661万円

・発達障害児療育支援事業(言語聴覚士の配置と個別支援) 386万円

・日中一時支援事業(障害児のタイムケア) 930万円

・自治会の子育て広場への助成(12ヵ所) 2,029万円

・高等技能訓練促進事業(母子家庭の母親の資格取得支援) 162万円

・延長保育促進事業 8,040万円

・アフタースクール子ども育成事業 3,700万円

・育児ファミリーサポートセンター事業 426万円

・敬老祝金の支給 2,668万円

(新)・生活・介護支援サポーター養成事業 234万円

《雇用対策・地域活性化の推進》

- (新)・緊急雇用の創出・ふるさと雇用再生基金事業 3,681 万円
雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等の雇用機会の創出と地域のニーズに応じた雇用創出事業を実施した。
- (新)・新都市中央線の整備 4,200 万円
国道175号市場東交差点から小野工業団地までの道路整備。新病院建設関連事業。
- ・市道208号線の整備 2,022 万円
旧国道(神姫バス営業所)から国道175号(ひまわりの丘公園前)までの道路整備。
- ・栗生駅周辺の整備 9,418 万円
駅舎、広場等を整備し、構内にコミュニティ施設を設け、駅利用者の利便性の向上と地域の活性化を図った。
- ・市民会館の大規模改修 6,631 万円
- ・生活道路の整備 1,753 万円
- ・特産品を活用した市民交流施設の整備補助 618 万円
- ・王子南区画整理事業の推進 1,330 万円
- ・青野ヶ原演習場周辺整備事業(白土池改修) 4,348 万円
- ・農地・水・環境保全向上活動への助成(53地区) 2,295 万円
- ・むらづくり交付金事業(用排水路工、市民農園整備等) 2,051 万円
- (新)・山田の里公園整備に着手 200 万円
- (拡)・小野まつりの充実 4,000 万円
- (拡)・シルバー人材センターへの運営助成 1,307 万円
- ・産業フェスティバルの開催 1,200 万円
- ・地域コミュニティの活動支援 2,100 万円

《国の経済危機対策に伴う地域活性化事業》

(新)・緊急経済対策相談窓口の設置	139 万円
(新)・観光客誘致促進事業(観光パンフレットなどの作成)	424 万円
(新)・J R の各駅に防犯カメラを設置	644 万円
(新)・消防緊急通信システムの更新	4,515 万円
(新)・高齢者世帯に火災警報器を設置	224 万円
(新)・総合体育館の改修(屋根塗装など)	2,277 万円

《その他》

(新)・住民情報システムの更新	3 億 4,866 万円
・うるおい交流館「エクラ」の NPO による管理運営	1 億 1,682 万円
・国際交流事業(姉妹都市交流・国際交流の集いなど)	723 万円
・森林ボランティアの活動支援	127 万円
・全国高校珠算競技大会開の開催経費	745 万円
・小野名画劇場など市民会館文化自主事業の実施	1,241 万円
・中小企業への融資あっせん制度の拡大	1 億 5,900 万円